

未来のない原発より
原発のない未来を

伊方原発動かすな！！

2021.8.28現地集会

伊方原発ゲート前

13:30~ 原発サヨナラ楽団

14:00~ 集会開始

15:30~ 伊方町内ビラ配布



主催 伊方から原発をなくす会

共催 原発いらんぜ！宇和島市民の会・原発から命をまもる大洲の会・

伊方原発なくそう八幡浜市民の会

原発さよなら四国ネットワーク・グリーン市民ネットワーク高知

脱原発市民ネットワーク徳島・脱原発アクションin香川

後援 伊方原発反対八西連絡協議会・八幡浜・原発から子供を守る女の会

連絡先 〒796-0088 愛媛県八幡浜市304-8 kyoudoukoudou@gmail.com

090-8698-2114

四国電力は10月に伊方3号機を 再稼働しようとしています。

再稼働を止めるために 8・28集会にご参加ください！



核と人類は共存できません

福島原発事故から10年が経ちました。この事故は原発が重大事故を起こせば、人の命と尊厳を奪い、生活を奪い、職場を奪い、暮らしやつながりを壊すということを大きすぎる犠牲の上に教えました。2度と同じことを繰り返すことは許されません。

原発が事故を起こせば、放出された放射性物質が風や海流に乗って運ばれ、被害は広域に及びます。

福島原発事故では、原発から50km離れた飯館村も全村避難になり、200km以上離れた関東でも高放射線地域が見つかっています。

原発事故の被害は長期に及びます。事故炉の処理を30~40年としています。その期間には何の科学的根拠もありません。溶け落ちた燃料デブリを取り出す目処も立っていません。今も放射能を海に、大気中に放出し続けて、避難された方々は苦難の生活を強いられています。住民の反対の声を踏みにじり、放射能に汚染された水までも海に捨てようとしています。

政府も電力会社も事故の責任など取るつもりはないのです。

福島原発事故により原発の「安全神話」は神話に過ぎない事が露呈しました。今度は「放射能は安全」という新たな神話を作ろうとしています。これ以上一企業のために犠牲を強いるのを許す事はできません。

みんなの力で原発のない社会を！！ 賛同団体

伊方原発をとめる会・原発をなくし、自然エネルギーを推進する高知県民連絡会
さよなら原発徳島実行委員会・原水禁香川・コープ自然派しこく
愛媛有機農産生協・NPO法人土といのち

カンパにご協力ください

ゆうちょ銀行 記号16100番号25818461

口座名義 まちづくりネットワーク八幡浜

大飯原発設置許可取り消し

2020年12月4日、大阪地方裁判所は、福島原発事故後、国が定めた新しい規制基準に「基準地震動を算定するにあたって「規制委員会の調査・審議過程に『看過し難い過誤、欠落』がある」として、大飯原発3.4号機の設置許可を「違法」と判断し取消しを命じました。

伊方原発も同じ計算方法で「基準地震動」が計算されています。一般住宅のメーカーでさえ、2000ガルの実証実験を行い、安全性を確保しようとしている現状のなかで、どんな事態が起ころうが放射能を封じ込めなければならない原発で、650ガルとは常軌を逸しています。

この数値こそが、私たちの生命より経済性を優先している国や企業の姿勢を表すものです。

同じ過ちは繰り返さない！！

政府や電力会社は、福島第1原発事故から何も学ぶことなく、次々と再稼働を推し進め、例外中の例外といていた40年を超える老朽原発まで再稼働させました。原発の問題はエネルギー問題ではありません。未来に負の遺産を残すのか。金儲けのために、人の命や尊厳を犠牲にする社会を許すのかが問われる問題なのです。